

豪雨の時、あなたはどこに避難しますか？

☎ 安心安全課 ☎ 56-0611

台風シーズンが近づいてきました。近年は毎年のように全国各地で被害が発生しており、本市でも**同様の災害がいつ起こっても不思議ではありません。**また同時に、**感染症への対策も忘れずに行う必要があります。**

市内でも東海豪雨の際は、橋が壊れたり、浸水などの被害がありました。



避難の考え方

① 避難にもステイホームを

災害時も平時と同様にステイホームが感染症対策に有効です。自宅が安全なら**在宅避難**をしましょう。平時から防災マップ等で自宅の災害リスクを確認しましょう。

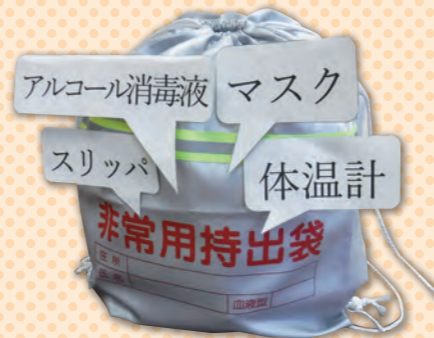
② 在宅避難以外でも…

自宅が災害リスクのある場所にある等の理由で、在宅避難ができない場合は、**親戚や知人宅への縁故避難**を考えましょう。日頃から挨拶をするなど、近隣との関係を築くことが重要です。

③ 縁故避難もできないときは…

縁故避難も困難な場合は避難所に向かいましょう。自らの判断で命を守る行動がとれるように情報収集が必要です。

備えあれば憂い無し



在宅避難には備えが必要です。食料、飲料、簡易トイレ、電池や常備薬などを準備しておきましょう。

市 HP



避難のタイミング

市 HP



2021年5月から、避難のタイミングを数字でわかりやすくお知らせする警戒レベルの伝達名称が変わりました。避難に関する情報は安心メール等でみなさんにお知らせします。詳細は市HPへ。

警戒レベル	出される情報	発信者	とるべき行動
レベル1	早期注意情報	気象庁	最新情報に注意！
レベル2	大雨注意報や洪水注意報	気象庁	防災マップ等で避難方法を確認！
レベル3	高齢者等避難	市	危険な場所から高齢者等は避難！
レベル4	避難指示	市	危険な場所から全員避難！
～〈警戒レベル 4 までに危険な場所から必ず避難！〉～			
レベル5	緊急安全確保	市	命を守るための最善の行動

- 必ずしも、この順番で発令されるとは限りません。
- 「避難」とは「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 避難する時は、マスク、手指消毒液、体温計などの感染症対策用品を持参しましょう。

災害情報を集めよう

避難の判断をするためには情報収集が不可欠です。テレビやラジオ等に加え、以下のものからも情報を集めましょう。

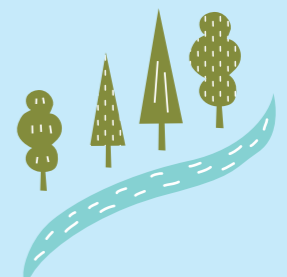
① 長久手市安心メール

市内の災害情報等をメールで配信するサービスです。右のQRコードのアドレスに空メールを送り、返信されるURLのリンク先から登録ができます。



② 河川カメラ

香流川（下川原橋付近）に加え、2021年7月から、新たに鴨田川（西鴨田橋付近）にも河川カメラを設置します。ひまわりアプリまたはひまわりテレビのデータ放送で川の様子を見ることができます。アプリの詳細はひまわりネットワークHPへ。



ひまわりネットワークHP

